

元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま



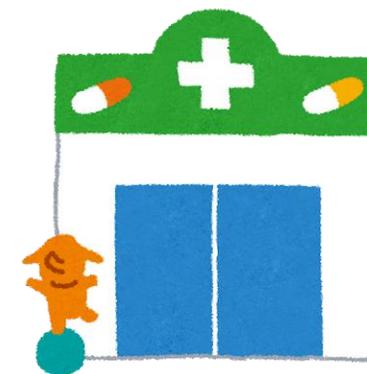
広島県における薬剤師・薬局の 健康サポートに関する取組事例

第162回市町村職員を対象とするセミナー
「地域包括ケアシステムにおける薬剤師・薬局の役割」



令和4年9月2日

広島県健康福祉局薬務課 課長 岡田 史恵



本日の内容

1 広島県について

2 広島県と県薬剤師会の連携

3 市町と薬局の連携

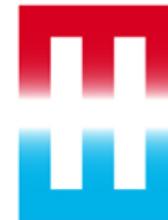
(1) がん検診推進に関する取組

(2) 継続フォローと地域での多職種連携に関する取組

(3) フレイル予防に関する取組

(4) 特定健診受診率向上に関する取組

4 まとめ



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

1 広島県について

1 広島県について



(県章)

この県章は、広島県のかしら文字「ヒ」を図案化したもので、円によって県民の和と団結を表現し、その重なりによって、伸び行く広島県の躍進と発展を象徴する



人口:2,779,314人
(令和3年10月1日時点)

全23市町(広島市:7区)

薬局の許可

…県立7保健所+市立3保健所

薬局数:1,591件

健康サポート薬局届出薬局数:67件

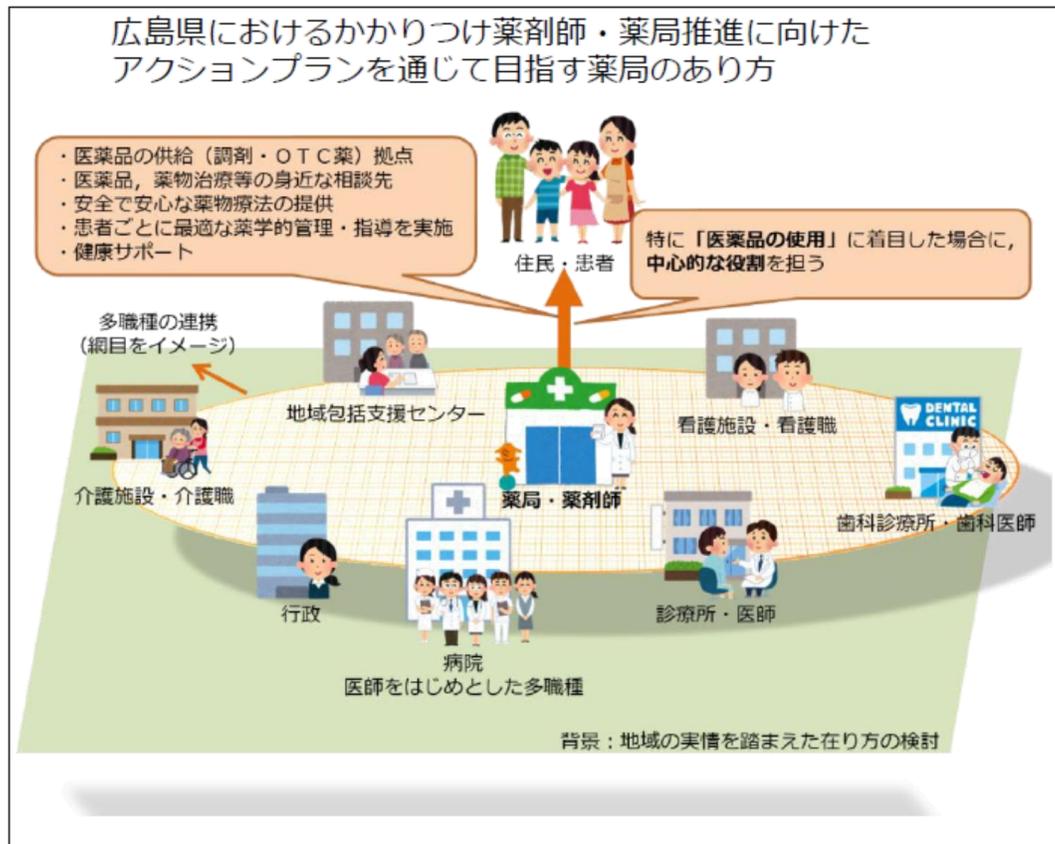
地域連携薬局数:61件

専門医療機関連携薬局数:1件

(令和4年3月31日時点)

1 広島県について

広島県におけるかかりつけ薬剤師・薬局推進に向けたアクションプラン

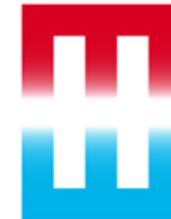


広島県独自にアクションプランを定め、健康サポート薬局数などを含む目標を設定

⇒ **かかりつけ薬剤師・薬局を推進し、地域住民の健康維持・増進を図っている。**

<健康サポート関係目標>

	目標値(令和4年度中)
・所属する薬剤師が地域ケア会議等，地域の医療・介護関係の多職種と連携する会議に出席している薬局数※	60% (全薬局に占める割合)
・健康サポート薬局研修を修了した薬剤師を配置している薬局数	400
・健康サポート薬局研修を修了した薬剤師を配置している薬局のうち，当該薬剤師が地域ケア会議等，地域の医療・介護関係の多職種と連携する会議に出席している薬局の割合(過去1年間に1回以上)	60% (該当する薬局に占める割合)



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

2 広島県と県薬剤師会の連携

(1) がん検診サポート薬剤師

広島県がん検診サポート薬剤師

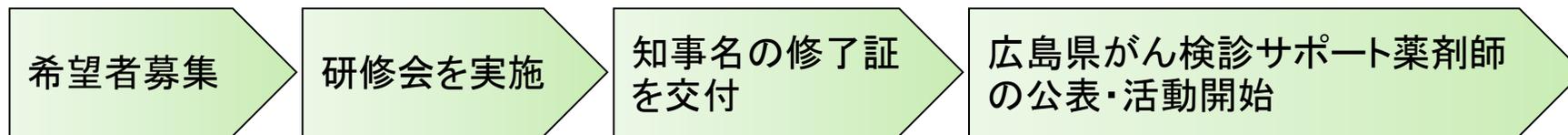


広島県がん検診サポート薬剤師

県民がどこに住んでいてもがん検診を適切に受診できる環境を整えるため、県の実施する研修を修了し、きめ細やかな受診勧奨等に取り組む薬剤師です。

広島県と広島県薬剤師会が連携して活動を推進しています。

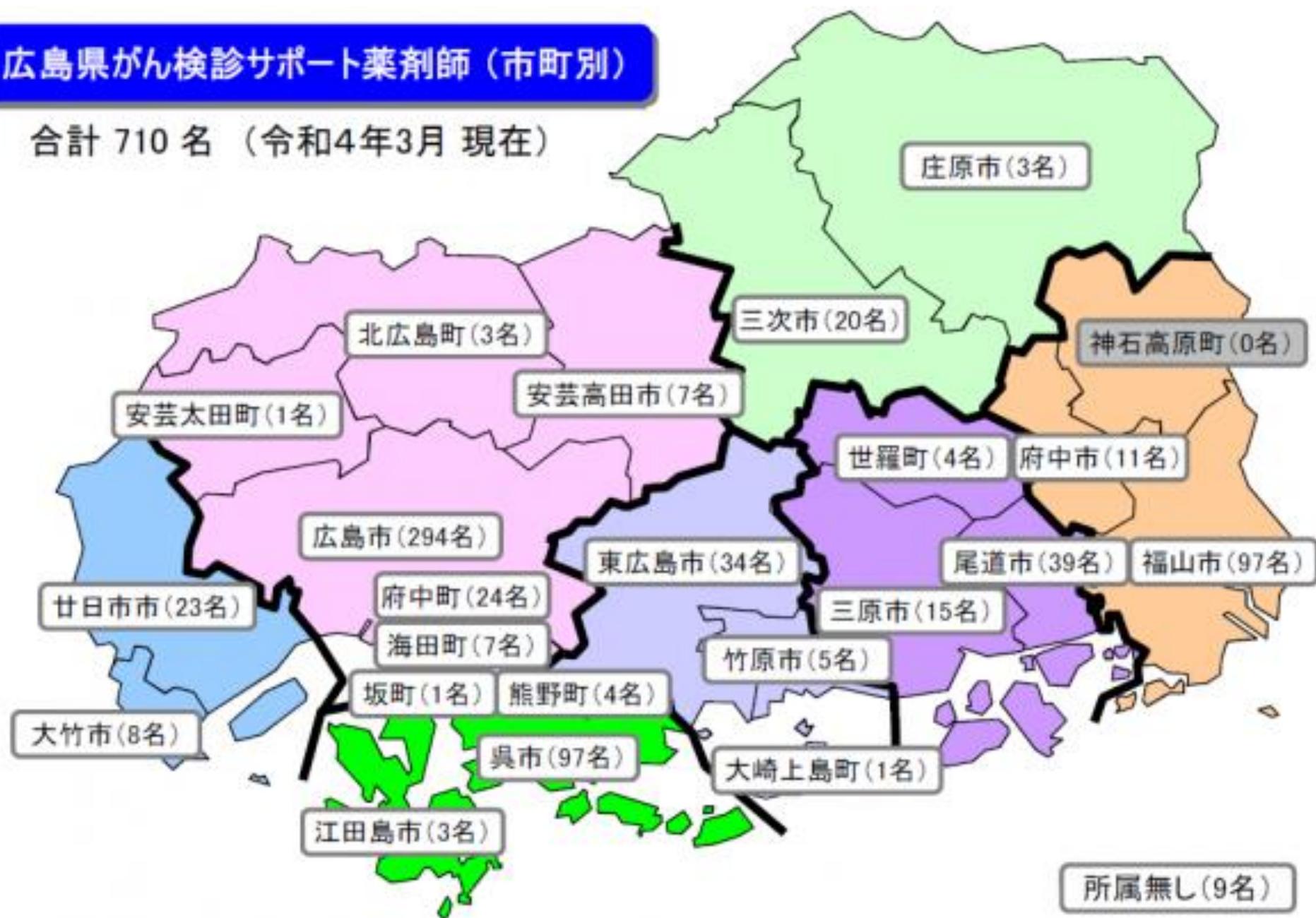
➤ 事業の流れ



➡ 薬局窓口での声掛け，企業への出前講座 等

広島県がん検診サポート薬剤師（市町別）

合計 710 名（令和4年3月 現在）



そもそも…

「がん」ってなに？

がんの原因ってなに？



(2) 健康経営の推進に向けた実証試験 における健康サポート

健康経営の推進に向けた実証試験(広島県)

○ 目的

「健康経営®」に取り組む県内企業と連携し、健康診断のデータからAIにより将来健康リスクを予測するとともに、スマートフォンのアプリ等を活用して生活習慣改善提案を行い、働き盛り世代の従業員の健康づくりにつながる実効性ある取組を検証。

「健康経営」とは…

従業員の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性を高める投資であるとの考え方の下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること。

※健康経営®は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

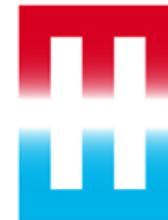
○ 実証試験の流れ

実証試験では、参加者を複数のグループに分け、後押しの内容に差を設けることにより、どの方法が、どの程度効果があったのかを検証。

○ 参加企業・団体

県内に事業所のある企業・団体の従業員並びに広島県職員50団体、約1,300名





元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

3 市町と薬局の連携

(1) がん検診推進に関する取組

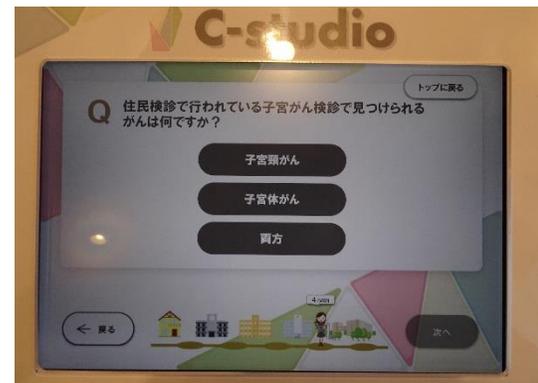
マイライフ株式会社にて「みんなのがん学校」の薬局への設置

<背景>

- ・がん検診率向上の進捗は思わしくない
- ・住民ががんに関する正しい知識を積極的に得る機会が少ない

<コンセプト>

- ・がんの基礎的な知識を得るきっかけづくり
- ・がん検診受診のきっかけづくり

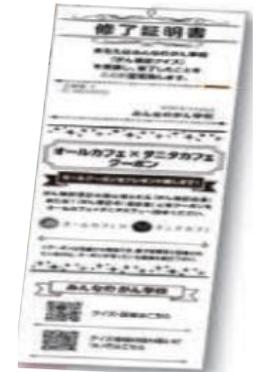


5問のクイズにチャレンジ！
全77問，年齢やがんへの関心から選択される

クイズの後には回答者にあわせた検診を推奨



結果などを示した修了
証明書が出力
1年以内に検診に行くと
嬉しい特典が！



(1) がん検診推進に関する取組

オール薬局
独自の取組



YMFGオールヘルスケアタウン



いつまでも自分らしく健康的に過ごせるように。

「オール健康くらぶ」とは？

日々の健康を応援する「オール薬局」運営のもと、身近に健康管理を行い、皆さまの健康寿命の延伸を目指す有料会員組織です。

- STEP 1** プロ仕様の測定機器で身体の状態を把握！測定結果はデータで一括管理！
 - 会員証となる活動量計で毎日の活動量を管理
 - オールラボで各種測定機器の利用が可能
 - 測定結果はデータで管理。スマホやPCでいつでも閲覧が可能
 - STEP 2** 管理栄養士があなたの健康づくりをサポート！
 - 月1回、栄養カウンセリングを受けられる
 - 毎月目標を設定し、頑張るあなたをアシスト！
 - お電話で食事の相談や質問ができる
 - STEP 3** 健康ポイントを貯めて、お食事券をゲット！
 - 活動量等に応じて健康ポイントを進呈
 - 貯めた健康ポイントはオールカフェのお食事券と交換
 - OPTION** 食生活と一緒に睡眠を見直してみませんか？
 - いつもお使いのマットの下に敷くだけであなたの睡眠を測定！
 - ※計測サービスのご利用は別途追加料金がかかります。
- 会員価格 ※入会費に3000円（税込）の年会費（月額1,000円）がかかります。
- 入会金 4,400円（税込） 会費 年払いの場合13,200円（税込）/年 月払いの場合1,320円（税込）/月

こんな方を募集しています



入会手続きから実践までのフローチャート



地域住民の健康増進をサポートする
薬局として、様々な機能を拡大中
⇒ 連携先も拡大中

(2) 継続フォローと地域での多職種連携の取組

安芸高田市「糖尿病予防事業」受託

2015～2019年度

<目的>

40～74歳で**糖尿病リスクのある人**に対して糖尿病予防事業を実施し対象者が自分で体調管理をすることにより、**糖尿病の発症を防ぎ医療費の削減につなげる**

<対象者>

平成26年度**特定健診データ**で ①**非肥満**かつ ②もしくは③

②HbA1c 6.0～6.4の人

③HbA1c 5.6～5.9で**血圧・脂質・飲酒習慣**のいずれかのリスクがある人

上記該当者84名中、参加希望の17名で実施

<2015年度スケジュール・内容>

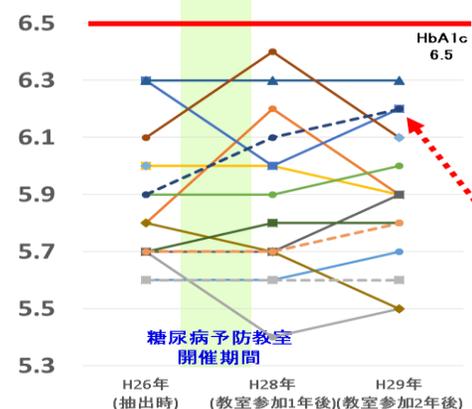
第1回	体組成測定・病態説明・栄養指導
第2～5回	行動目標の確認とアドバイス、運動指導
第6回	体組成測定・病態説明・栄養指導・糖尿病食試食

**多職種
連携**

結果

平成27年度教室参加者の特定健診結果推移(1)

図1 HbA1c(%)の推移 n=15 (15/17人 2人は転居等によりデータなし)



○ HbA1cは
全員が6.5%未満であり、
糖尿病を発症している方は
いない。
○ 教室終了後2年経過しているが
増悪することなく維持されてい
る。

HbA1c 5.9→6.1→6.2%
と上昇傾向にあるため、注意が必要
行政へフォローを依頼

*平成27年度は個々の特定健診日が教室
開催期間の前後にバラついていたため
比較できていない。

○ 糖尿病予防教室での介入により、**収縮期血圧・中性脂肪・HDL測定値**に関して、いずれもすべての参加者が**基準値内でコントロール**されており、**有意差が認められた。**

○ LDL測定値に関しても改善の傾向がみられた。

○ レセプトデータにより、**参加者の中で糖尿病を発症された方はいなかった。**



(2) 継続フォローと地域での多職種連携の取組

「ふるた健活くらぶ」区役所・地域包括支援センター・医師会とともに地域の健康課題に多職種で連携し、継続的な事業を実施

- ・日時 令和3年10月～令和4年3月
13時30分～15時(全6回)
- ・場所 広島市古田公民館
- ・主催 広島市古田地域包括支援センター
広島市西区地域支えあい課
(株)ホロンすずらん薬局グループ
- ・協力 広島市西区地域保健対策協議会
(西区医師会)
- ・対象 地域包括支援センターが「通いの場」参加者
の中から高齢者で生活習慣病のリスクが高い
人に呼び掛け、継続的な参加に同意の人
- ・内容 **医師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士**・
歯科衛生士が対象者に健康寿命延伸や糖
尿病等の生活習慣病予防を図るために継続
的に協働で支援する

※広島県薬剤師会倫理審査委員会承認番号：202104A

第1回 10月21日(木)「測定会」

- ・HbA1c測定および薬剤師の話(すずらん薬局:薬剤師)
- ・体組成測定(すずらん薬局:管理栄養士)



HbA1c測定

薬剤師による講義

体組成測定

第2回 11月4日(木)「運動と体組成測定結果のアドバイス」

- ・運動(荒木脳神経外科病院:理学療法士)
- ・体組成測定結果の説明と食事のアドバイス(すずらん薬局:管理栄養士)

第3回 11月18日(木)「運動とお口のケアについて」

- ・運動(荒木脳神経外科病院:理学療法士)
- ・口腔ケアについて(荒木脳神経外科病院:歯科衛生士)

理学療法士による運動指導

歯科衛生士による講義

第4回 12月2日(木)「医師による糖尿病の話と栄養士による食事の話」

- ・糖尿病専門医による糖尿病の話(加川整形外科病院:医師)
- ・糖尿病をよせつけない食事を知ろう!(すずらん薬局:管理栄養士)

第5回 12月16日(木)「運動と体組成測定結果の変化についてのアドバイス」

- ・運動(荒木脳神経外科病院:理学療法士)
- ・体組成測定結果の説明(1回目との比較)と、食事のアドバイス(すずらん薬局:管理栄養士)

糖尿病専門医による講義

管理栄養士講義

第6回 3月17日(木)「HbA1c測定とお薬について」

- ・HbA1c測定(すずらん薬局:薬剤師)
- ・糖尿病と認知症、認知症の薬について(すずらん薬局:薬剤師)



管理栄養士によるアドバイス

R4年4月22日実施後の振り返りミーティング

(3) フレイル予防に関する取組

＜福山市との健康増進に関する連携協定＞

2010年から株式会社ファーマシィにおいて、
薬局外の健康サポート活動を実施

食事・栄養講座，お薬講座，
健康測定会，地域行事参加など

⇒地域での健康サポート活動推進のため、
福山市と株式会社ファーマシィで連携
フレイル予防を中心に活動

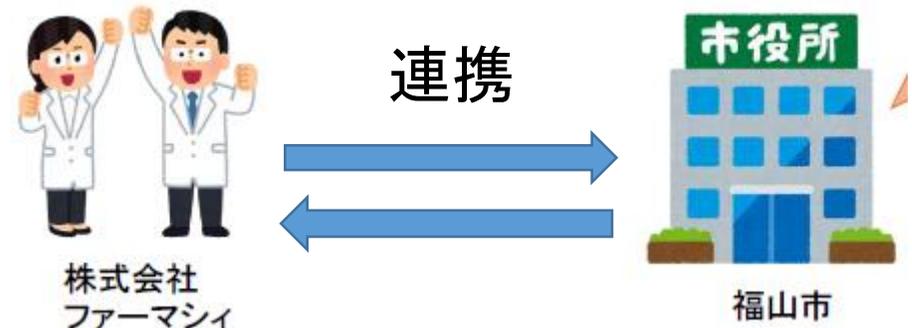
- ▶フレイルサポーターとして活動
- ▶チラシの配布
- ▶動画の配信 など…



＜福山市からの委託事業＞

地域における健康サポート活動の実績を活かし、
福山市フレイル予防事業に参画

⇒福山市から委託を受け、
「福山市出張フレイル予防塾」の担当事業所と
して2022年度(令和4年度)から活動を開始
▶担当事業所は、医療機関や指定介護事業所が
多い中、薬局として初参加
▶年2回、担当日常圏域内の”通いの場”へ、
薬剤師 2名，又は、薬剤師・栄養士が出張



(3) フレイル予防に関する取組

<福山市出張フレイル予防塾>

- ①福山市フレイル質問票の記入
- ②健康講座※並行してフレイル状態の高齢者を把握
- ③フレイル予防体操（動画）
- ④福山市フレイル質問票の返却，必要な方へ健康相談等

全体で90分～2時間程度実施

▶健康講座は30分程度

講座内容：運動・食生活・オーラル
フレイル予防・社会参加など

▶フレイル予防体操は，座ったままでも
できるような簡単なもの

福山市フレイル質問票

※フレイルかどうかに気づくための質問です。当てはまるものに○をつけてください。

実施日	年 月 日	実施場所	
フリガナ		性別	男・女
名前		電話	() - () - ()
住所	福山市 町 丁目 番地 号		
生年月日	年 月 日 (歳)		

必要に応じて，医療機関受診勧奨，地域包括支援センターとの連携を実施

薬剤師ならではのPoint



参加者にはお薬手帳の持参を依頼

⇒服用されている医薬品の副作用などの観点から
参加者の申告する症状を分析できる！



食べ物がつかえ
ているみたい…
嚥下障害が出て
いるのかな？

転倒傾向がある…
この薬でふらつい
ているのかな？

専門知識を用いた
アドバイスの実施

※フレイルかどうかに気づくための質問です。当てはまるものに○をつけてください。

質問文	回答
1 あなたの現在の健康状態はいかがですか	① よい ② まあよい ③ ふつう ④ あまりよくない ⑤ くない
2 毎日の生活に満足していますか	① 満足 ② やや満足 ③ やや不満 ④ 不満
3 1日3食きちんと食べていますか	① はい ② いいえ
4 半年前に比べて重いもの（さきいか、たくあんなど）が食べにくくなりましたか	① はい ② いいえ
5 お茶や汁物等でむせることがありますか	① はい ② いいえ
6 6か月間で2〜3kg以上の体重減少がありましたか	① はい ② いいえ
7 以前に比べて歩く速度が遅くなって来たと思いませんか	① はい ② いいえ
8 この1年間に転んだことがありますか	① はい ② いいえ
9 ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	① はい ② いいえ
10 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われていますか	① はい ② いいえ
11 今日が何月何日かわからない時がありますか	① はい ② いいえ
12 あなたはたばこを吸っていますか	① 吸っている ② 吸っていない ③ やめた
13 週に1回以上は外出していますか（通院等での外出を含む）	① はい ② いいえ
14 ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	① はい ② いいえ
15 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	① はい ② いいえ
16 フレイルという言葉の意味を知っていますか	① 知っている ② 知らない

※この質問票は、福山市及び本事業を実施した事業所で保管し、保健事業の目的以外には使用しません。
この質問票をもとに、福山市から連絡させていただく場合があります。

2021-健康-312 A4 2021.7 3×20×600

(3) フレイル予防に関する取組

ある日、参加者から相談が…



通いの場に出てこなくなってしまう人がいる、ずっと家に引きこもっているみたい。あの人にもここに来てほしいのだけど…。

必要な行政サービスを利用せず、ずっと自宅に閉じこもっている住民がいることが判明
⇒福山市に報告し、対応を依頼

地域に出向くことで、普段薬局では聞かない声を聴き、必要な支援提供のため、関係機関と連携することができた。

介護職

医師

作業療法士

看護師

理学療法士

薬剤師



各業種によって、それぞれの“専門性”が異なる

それぞれの“専門性”を活かし、連携して、地域住民の健康へ働きかけることが重要

(4) 特定健診受診率向上に関する取組

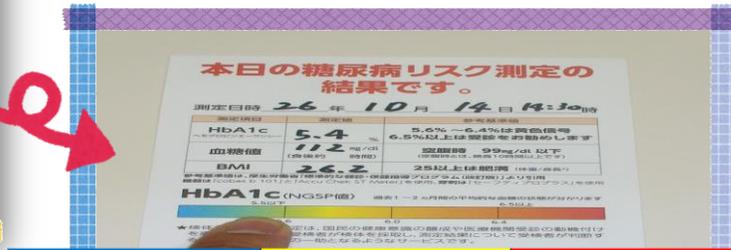
＜三原薬剤師会における検体測定室の設置＞

平成26年度4月にガイドライン施行⇒薬局での設置も可能に！
自己血糖測定が可能⇒患者が自ら実施し、判断する

「リスク測定」の結果カードを手渡しして、
糖尿病への注意を促すことに！



リスク測定の結果カードを手渡し！



指先の血液で測定！

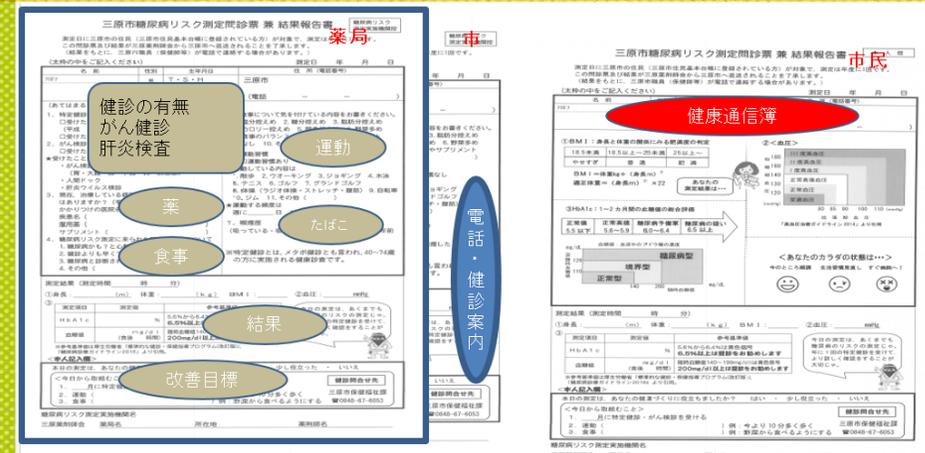
5.5 以下	5.6 以上 ~ 6.4 以下	6.5 以上
ブルーゾーン	イエローゾーン	レッドゾーン
現状維持	生活指導	直ちに受診勧奨

参考基準値は「健診・保健指導」に合わせ、色で伝える。

＜三原市の課題＞

- ・県内の他市町と比較して生活習慣病の中に占める糖尿病の割合が高い
- ・特定健診の受診率が低い

三原市の委託事業に！！



3枚複写の 問診 兼 結果報告書（薬局・市の保健師・市民）

リスク測定を実施した人へ、その際の情報を
もとに市保健師から健診案内

(4) 特定健診受診率向上に関する取組

薬剤師会が機器セット・消耗品(配達付)・精度管理を準備



平成28年度 糖尿病検査事業
薬局・薬剤師が、地域の健康づくりに参加

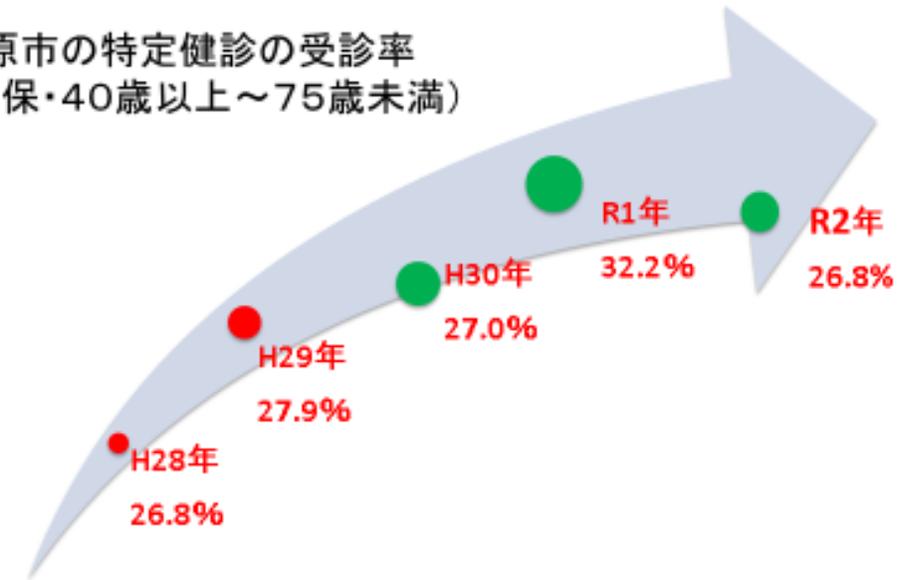
年間実施10薬局、2か月限定実施16薬局(各地域包括エリア)

52薬局中 26件実施 → 550人測定



薬局が、特定健診率アップに貢献中

三原市の特定健診の受診率
(国保・40歳以上～75歳未満)



三原市民 96,374人 40～74歳の市民45,030人(平成29年4月30日付)
平成27年度:40～74歳の国保16,920人 受診者4,359人(25.8%)

なじみの薬局行ってみようかな

会営薬局から地域のなじみの薬局まで
一丸となって参加

常設の薬局と
当番制の薬局で
実施

薬剤師のアドバイスがあったし、
健診に行ってみようかな

アドバイス受けられて
よかったな



市民

薬局の働きかけで受診率が上昇しつつある

(4) 特定健診受診率向上に関する取組

三原市国民健康保険 データヘルス計画(第2期計画) 平成30年3月 三原市

平成26・27・28年度の結果報告として

- 特定健診受診率 上昇
- 糖尿病レセプト分析 患者数減少
- 人工透析レセプト分析 患者数減少
- 保健事業の実施計画の「糖尿病予防事業」において薬局等での糖尿病検査事業の成果指標結果は、
(1)薬局等での糖尿病検査から、特定健康診査へ結びついた者の割合 41.9%
その内(HbA1c6.5以上の方)
(2)薬局等での糖尿病検査から、医療機関受診へ結びついた者の割合 87.9%

第2期計画

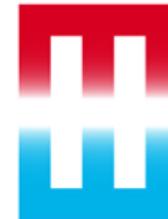
特定健診の啓発 及び 糖尿病予防事業に薬局の「糖尿病リスク測定」が方策のひとつとして明記された

事業を委託した三原市の結果報告に薬局の成果が記載され、データヘルス計画にも盛り込まれた

現在も委託事業継続中



薬局が地域住民に対してできることをさらに検討中...



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

4 まとめ

4 まとめ



薬局にはさまざまな健康サポート機能が備わっています。

薬剤師には地域住民の健康を専門的な知識を用いてサポートすることができます。

医薬品のことはもちろん、様々な健康にかかわる場面で、
薬局・薬剤師はその機能を発揮することができます。

がん検診、フレイル予防、
特定健診、糖尿病予防
など…

ぜひ、各市町村のそれぞれの薬局の活動を確認してみてください。

同じ方向の取組を実施している、連携して取り組めるような健康サポート活動が見つかるかもしれません。

地域住民の健康サポート活動に、ぜひ薬局・薬剤師の活用を検討してみてください。



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

御清聴いただき、ありがとうございました。

